

韓国高校生訪日団（第1～2団）招へい事業の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】日韓関係の改善を基盤とした訪日プログラムの一環として、韓国全土から選抜された韓国の高校生等を招へいし、講義聴講、学校訪問、テーマ「日韓交流とSDGs」に沿った各種視察等を通じて、日本に対する理解を深めると共に、韓国でまだあまり知られていない日本の新たな魅力を発信することで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】韓国の高中生等 合計 100 名

【訪問地】訪日（東京都、埼玉県 合計 100 名、（第1団）大阪府 50 名、和歌山県 50 名、奈良県 50 名、（第2団）長野県 50 名、岐阜県 50 名、愛知県 50 名）

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

8月29日（木曜日）オリエンテーション（プログラム説明）、参加者による対外発信

■ 招へいプログラム：

9月22日（日曜日）成田国際空港から入国、来日時オリエンテーション

【講義】「最近の日韓関係について」

9月23日（月曜日）【視察】高麗神社

【視察】李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク

9月24日（火曜日）～9月28日（土曜日）

2つの団に分かれ、第1団は大阪府、和歌山県、奈良県、第2団は長野県、岐阜県、愛知県を訪問

（1）第1団：大阪府、和歌山県、奈良県

9月24日（火曜日）大阪府へ移動、【視察】おおさかATCグリーンエコプラザ、和歌山県へ移動

【視察】わかやま歴史館

9月25日（水曜日）【学校訪問・交流】和歌山県立星林高等学校

9月26日（木曜日）【講義】和歌山県庁「和歌山県と韓国の繋がり、和歌山県の魅力等」

【講義】一般社団法人南紀州交流公社「白浜町の魅力とSDGsへの取組み」

ホームステイ対面式

9月27日（金曜日）ホームステイ解散式、奈良県へ移動、【視察】法隆寺

成果報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

9月28日（土曜日）関西国際空港から出国

（2）第2団：長野県、岐阜県、愛知県

9月24日（火曜日）長野県へ移動、【表敬訪問】長野県庁、【講義】長野県庁「国際交流員が見た長野

県の魅力及び韓国との交流について」、【講義】Hakuba SDGs Lab「SDGs とは？自分ができることを考える」

9月25日（水曜日）【学校訪問・交流】長野県白馬高等学校、【視察】八方尾根うさぎ平、黒菱平
【ワークショップ】「八方尾根の環境保全を見て学ぶ」

9月26日（木曜日）岐阜県へ移動、ホームステイ対面式

9月27日（金曜日）ホームステイ解散式、愛知県へ移動

【視察】一宮市尾西歴史民俗資料館、【視察】リニア・鉄道館

9月28日（土曜日）成果報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）、中部国際空港から出国

2. 記録写真

	
<p>2024年9月22日【講義】「最近の日韓関係について」</p>	<p>2024年9月23日【視察・講義】高麗神社</p>
	
<p>2024年9月24日【視察】大阪ATCグリーンエコプラザ</p>	<p>2024年9月24日【講義】長野県庁「国際交流員が見た長野県の魅力及び韓国との交流について」</p>
	
<p>2024年9月25日【学校訪問・交流】和歌山県立星林高等学校</p>	<p>2024年9月25日【学校訪問・交流】長野県白馬高等学校（文化・スポーツ体験）</p>

	
<p>2024年9月26日【講義】「和歌山県と韓国の繋が り、和歌山県の魅力」</p>	<p>2024年9月25日【ワークショップ】「八方尾根の 環境保全を見て学ぶ」</p>

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 高校生（1団）

個人的な訪問であればただの観光で終わってしまったと思うが、訪日団では視察先ごとに紹介してくださる方がいて、より深く理解することができた。また学校訪問では、日本の高校生との交流を通し、教科書では学べない日本現地の文化について知ることができた。

◆ 韓国 高校生（1団）

星林高校で学生たちと交流し授業も一緒に体験できたことが一番良かった。またホームステイを通して日本の方々の優しさに触れ、解散式では涙した。

◆ 韓国 高校生（2団）

より深い日本の文化を知ることができた。一般的な観光とは異なり、ホームステイや日本の学校訪問を通じて、日本に住む人々と親密な関係を築くことができ、特別な経験になった。

◆ 韓国 高校生（2団）

今まで馴染みのなかった「SDGsの実現」について、日本では現時点ですでに大変積極的に推進されていることを知り、「SDGsの実現」とは国際社会における先進国の役割だということを実感することができた。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 和歌山県庁

和歌山県の魅力と、韓国と和歌山県の繋がりの歴史についてご紹介した。訪日団の皆さまからは沢山のご質問をいただき、和歌山県に大変興味を持っていただくことができた。今後も、このような青少年交流事業を活発に進めていき、和歌山県のみならず日本と韓国の懸け橋となる友情を育てていければと思う。

◆ 一般財団法人南紀州交流公社

1泊2日17時間ほどの滞在だったが、ホストファミリーとの交流ではお互いの気持ちが高まり、心が通じたことは離村式での涙が物語っていたように感じる。12軒のホストファミリーから口々に「すばらしい生徒ばかりで、もっと長く我が子でいてほしかった」との声を多く聞いた。これもひとえにこの度当地を訪れて頂きました生徒の皆様の学ぼうとする力、交流しようとする心が、高齢化が進む過疎地に元氣と勇氣を与えてくれたおかげだと思ふ。普段若者を見ることがない地域に天使が舞い降りたような時間をいただいた事に感謝申し上げたい。

◆ 八方尾根開発株式会社

皆さまには再生可能エネルギーで稼働されているリフトに乗って、中部山岳国立公園白馬八方尾根の標高1,680メートルに位置する黒菱平まで登っていただいた。雄大な景色に感動されたことが、訪日プログラムの良い思い出になれば幸いに思う。これからも何度も訪れていただけるよう、私たちも引き続き環境保全に努めてまいります。

◆ 長野県白馬高等学校

短い交流時間の中でも、生徒たちはすぐに打ち解け合い、各所で拍手がおき、笑い声が聞こえ、たくさん笑顔を見ることができた。両国の高校生同士が、未来に向けて貴重な友情を築く機会となり、特別な思い出となる交流会になったと思う。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 <p>식사 후에는 오사카 ATC 그린에코프라이즈에 방문했다. 에코프라이즈는 환경 보전, SDGs 목표 달성에 힘쓰는 일본의 다양한 기업들을 소개하고 일반인에게 널리 알리는 것을 목적으로 설립된 상설전시장이라고 한다. 생각보다 정말 넓고 다양한 정보들이 있었다. 일본이 이렇게나 SDGs 목표 실현에 앞장서는 국가인지 몰랐는데 각종 친환경 상품들을 보고 생산 과정에 대한 설명도 듣고 전시장을 둘러보니 생각보다 환경 보전에 많은 노력을 기울이고 있다는 것을 알게 되었다. 평소 환경 친화적 경영이나, ESG 경영 분야에 관심이 많은 편인데 관련해서 많은 정보를 알 수 있어 좋았던 곳이었다.</p>	 <p>국립공립원이 본 나가노현의 매력 및 나가노현과 한국의 교류에 대하여: 이번 강의를 통해 나가노현은 5000년 문개 문명적 개척지로부터 살고 있었는데 북쪽의 알프스라고 불리우며 예전 지명은 '신수'라고 불렀던 것을 새롭게 알게 되었다. 또한 나가노현의 마스크트인 아루코마라는 마스크트에 대해 알게 되었는데 이 마스크트를 통해 나가노현이 가진 장광과 특산물들을 한 자리에서 만날 수 있다는 깨달았으며 가장 인상 깊었다. #nagano #naganoalps</p>
<p>2024年9月24日 (Instagram)</p> <p>日本がこれほどまで SDGs 目標達成をリードする国だとは知らなかった。展示や説明を通して環境にやさしい各商品の生産過程などを学ぶ中で、想像以上に努力されていることが分かった。普段から環境経営や ESG 経営分野に関心があったので有意義な視察になった。</p>	<p>2024年9月24日 (Instagram)</p> <p>長野県庁での講義を聞いて、「北アルプス」という言葉や、長野県が「信州」とも呼ばれていることを初めて知った。また、ゆるキャラの「アルクマ」を通じて、長野県の魅力や特産物等について、1つのキャラクターで表現することができるということに気づき、大変印象深かった。</p>



바다친구들 외에도 다른 여러 친구들과 친해졌는데
함께 찍은 사진들은 sns에 공유가 불가능하다고 해서ㅠㅠ

마지막으로 친구들과 작별인사를 하는데 정말 헤어지기
싫었다. 다들 상냥하고 정말 친절하게 대해줬다!
시간이 너무 빨리 지나가서 아쉬울 따름이다.
다같이 틱톡도 찍고 사진도 찍고 못 다한 대화를 하였는데
우리나라와 크게 문화차이를 느끼지는 못하였다.
마지막에 인스타를 교환해서 지금까지도 연락하고있다!!
다음에 꼭 다시 만나 😊😊



2024年9月25日 (Instagram)

学校交流の最後にお別れの挨拶をしたが、別れるのが本当に辛かった。みんな優しく親切だった。みんなで写真を撮り、たくさん話をしたが、ほとんど文化的な違いは感じられなかった。インスタグラムの情報も交換し、今でも連絡を取り合っている。

2024年9月25日 (Instagram)

八方尾根を視察し講義を聞いた。地球温暖化による少雪に対応するため、再生可能エネルギーを使用したスキー場での降雪等を行い、年間1,000トンの二酸化炭素削減を達成したそうだ。私たちもこのような点を見習って、自然保護が必要な場所で実践していければと思う。



韓国高校生 信州で交流
韓国の高校生約50人が22、23日の日程で長野県を訪問している。「日韓交流とSDGs(持続可能な開発目標)」をテーマにしたさまざまなプログラムを予定。一行は24日、県庁を訪れ、韓国出身の国際交流員から長野の魅力などについて学んだ。写真。

日、県庁を訪れ、韓国出身の国際交流員から長野の魅力などについて学んだ。写真。

日韓文化交流基金(東京)の事業で韓国から約150人の高校生が来日し、3グループのうち一つが長野、岐阜、愛知を巡る。県内では、北安曇郡白馬村がSDGsの取り組みについて学んだほか、白馬高校の生徒と交流する。

県庁では、国際交流課の稲玉総課長が「長野に親しみをもってもらい、両国の架け橋になっほしい」と歓迎。

国際交流員の高塚(ゴウツカ)さん(27)が長野の観光地や特産品、韓国との交流などについて紹介した。高校2年の安住(アヅミ)さん(17)は「同世代との交流が楽しみ。日本に来たのは初



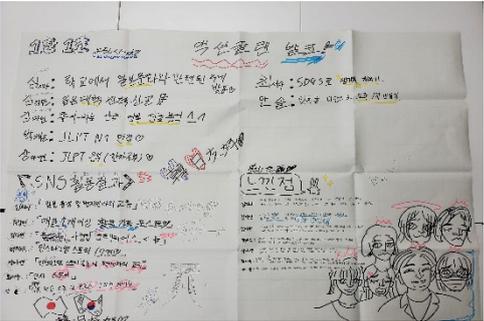
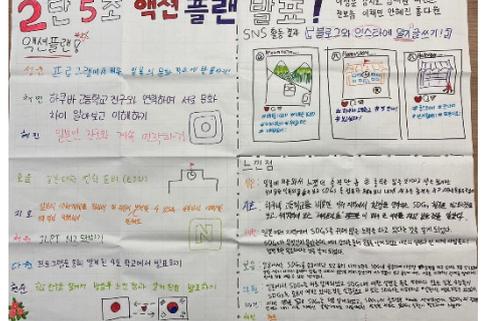
2024年9月25日 (信濃毎日新聞)

「韓国高校生 信州で交流」韓国の高校生が長野県を訪問し、県庁で韓国出身の国際交流員から県内の観光地、特産物、韓国との交流について講義を聴講した旨紹介。

2024年9月28日 (大系タイムス)

「韓国の高校生 SDGs 体験 白馬高訪問や八方尾根視察」韓国の高校生が白馬村を訪問し、同村内におけるSDGs達成への取り組みに関する講義聴講や白馬高校での交流の様子について紹介。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（概要または抜粋を記載する）

	
<p>【成果の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は環境問題の深刻さを早くから認識し、その問題の解決に向けて企業と地域が積極的に取り組んでいることを知った。今回の経験をもとに環境問題に対する関心が高まった。 ・日本という国は近いが韓国とは少しずつ違うということを学んだ。ホームステイをした地域で少子高齢化が進んでいたが、韓国におけるこの問題と比較し改善策を考えたい。 ・ホームステイや高校訪問などの交流を通し、韓国との文化の違いや共通点を発見するとともに、違う国で育った友人とも理解し合うことができた。 <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化と関連したテーマについて、学校で発表する。 ・学校のサークルで日本文化について紹介する。 ・周囲の人たちに今回のプログラムで学んだ日本文化について紹介する。 ・星林高校の日本の友人たちとの関係を維持し、日本語で会話をする。 	<p>【成果の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化とはその国の特性に合わせて形成されるもので、どちらか一方が合っていて、もう一方は間違っているという話ではなく、互いに理解し合いながら関係を構築していくべきものであると学んだ。 ・日本の様々な地域で SDGs 達成に向けた取り組みが行われていることを知った。講義聴講等を通じて、個々人による実践と地球規模での協力体制が必要であると感じた。 ・日本に来て初めて SDGs について知った。SDGs に関する話を聞くたびに、日本人がいかに関 SDGs を重要視しているかについて実感がわき、私自身も実践していこうと決心した。 <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムへの参加を通じて学んだことや日本文化について、学校で発表する。 ・白馬高校での交流を通じて知り合った日本の友人たちと連絡を取り続けることで、互いの文化の違いについて理解を深める。 ・日本語能力試験の受験や日本の大学への進学を準備する。

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金